令和２年度

経営発達支援事業（３年目）報告書

実施期間：令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

南箕輪村商工会

Ⅰ．経営発達支援事業の内容

**１．地域の経済動向調査に関すること【指針③】**

（１）景気動向情報等の収集・整理・分析・情報提供及び活用

　１）実施内容

　　①中小規模の事業者１５社を抽出し指導員２名、補助員１名が巡回を行い聴き取り調査を実施

　　　施しました。（製造業３社）（サービス業４社）（小売業・卸業４社）（建設業２社）（飲食業・

　　　宿泊業２社）

　　②聴き取り調査は四半期に分け年４回とし、希望する支援内容・課題等について抽出を行いま

　　　した。業種に合わせた調査内容とし、収集したデータは調査項目と業種別に分けてカルテに

　　　入力し職員で共有できる仕組みづくりを行いました。

③【長野県の動向】関係機関のアルプス中央信用金庫が毎月発行している中小企業景気レポー

　　　ト月報「伊那谷・経済動向」を活用し近隣の経済動向調査を確認する。郡内の業種別の動向

　　　と今後の予測の部分を活用。長野経済研究所が毎月発行している「経済月報」から県内の経

　　　済動向調査の確認を行った。県内全体の業種別の動向と今後の予測に活用しました。

**＜課題＞**

・経済動向調査は、多方面の関係機関等から調査が依頼されるため、小規模事業者としては

　　同じような調査が重複するため、回答に積極的でないこと。

　・新型コロナウイルスにより、巡回による聞き取りが行いづらくなったこと

２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 景気動向調査 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①景況調査実施回数　　　 　　　 目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　 　実績 | 1回 | 1回 | １回 |  |  |
| ②景況調査実施事業所数　 　　　 目標 | 50社 | 50社 | 50社 | 50社 | 50社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　 実績 | 23社 | 15社 | 15社 |  |  |
| ③景況調査事業所件数４回実施延　 目標 | 200件 | 200件 | 200件 | 200件 | 200件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　 実績 | 29件 | 60件 | 60回 |  |  |
| ④全国連調査結果本会HP掲載回数　 目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　 実績 | 4回 | 4回 | 0回 |  |  |
| ⑤関係機関等発行の情報誌分析　　 目標 | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　 実績 | 1回 | 0回 | 0回 |  |  |
| ⑥帳票本会ホームページ掲載回数　 目標 | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　 実績 | 0回 | 0回 | 0回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| ３０年度 | 100％ | 46％ | 14.5％ | 33.3％ | 25％ | 0％ |
| 31･元年度 | 100％ | 30％ | 30％ | 33.3％ | 0％ | 0％ |
| ２年度 | 100％ | 30％ | 30％ | 0％ | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①　：景況調査の実施により、村内の経済動向を把握することは大変重要であり、

　　　　　　　　　実施数を増やすことに努めます。

　　　　　　⑤⑥：情報収集→公表、に至る部分のフロー・フォーマット等が出来ていないため、

　　　　　　　　　早い段階で構築を目指します。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①　　：３年連続で目標値を達成しており、概ね評価できます。

　　　　　　②③　：目標値を大きく下回っており、改善を要望します。コロナの影響を考えれば

　　　　　　　　　　やむを得ない側面も窺えます。

　　　　　　④⑤⑥：改善を強く要望します。実施内容はコロナの影響は少ないと考えられます。

　　　　　　　　　　３年連続で実施していない理由を明確にしてみてはいかがでしょうか。

　　　　　※④⑤⑥は改善を要する。特に⑤⑥は令和元年からの改善要望の意見がでているため、

　　　　　　数年同じ評価とならないように具体的な改善を進める必要がある。

**２．経営状況の分析に関すること【指針①】**

（１）計画経営に向けた事業計画策定に係る経営分析

　　１）実施内容

　　　①経営指導員等による小規模事業者への訪問を計画的に実施し、経営支援のための情報提

供を実施するとともに経営状況の把握の聴き取り調査を行いました。

　　　②上記の調査により収集したデータをカルテに入力しデータの共有化を行いました。

　　　　上記の聴き取り調査から、経営上の課題を抽出し、課題別に振り分けてデータ化を行いました。（財務的課題、資金繰り、売上減少、収益性低下、人材育成、後継者問題等）課題別に振り分けたデータは課題解決支援と事業計画策定のセミナーのテーマ選定に活用しました。

　　　③課題解決に向けた経営分析の実施と専門家派遣による解決支援を実施して、課題を抱える小規模事業者に対して課題解決に結びつくための経営分析を行いました。

　　④抽出された課題の中で、専門的な課題については専門家派遣で対応し支援を行った。長野県よろず支援拠点、長野県中小企業振興センター、経営支援センター伊北諏訪グループとも連携し専門的な課題の支援を行いました。

　　**＜課題＞**

・経営状況調査は多方面の関係機関等から調査が依頼されるため、小規模事業者としては

　　　同じような調査が重複するため、回答に積極的でないこと。

　　・経営状況をどう活用するか、その手法について理解されていないため、回答に積極的でな

い。活用方法については、商工会の説明不足もあります。

　　・新型コロナウイルスの影響により、日々の資金繰りが悪化しており、経営分析も資金面のみ

が多くなっている。

　２） 数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業計画策定に係る経営分析 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①巡回事業所件数　　　 　　目標 | 100件 | 100件 | 100件 | 100件 | 100件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | 153件 | 98件 | 79件 |  |  |
| ②データベース化件数　　　　　　目標 | 100件 | 100件 | 100件 | 100件 | 100件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | 37件 | 23件 | 12件 |  |  |
| ③経営分析実施事業所件数　　　　目標 | 40件 | 40件 | 40件 | 40件 | 40件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | 46社 | 32件 | 10件 |  |  |
| ④専門家による支援実施事業所数　目標 | ５件 | ５件 | ５件 |  |  |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | 　２件 | １件 | １件 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ |
| ３０年度 | 153％ | 37％ | 115％ | 40％ |
| 31･元年度 | 98％ | 23％ | 80％ | 25％ |
| ２年度 | 79％ | 12％ | 25％ | 25％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：実施状況の内容によって②③④の項目へと繋がるため、①を重視します。反面､

　　　　　　　　コロナ禍の状況が続いているため、Ｚoom等の活用を図るように取り組みます。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①　　：コロナ禍、目標値を下回っているが、概ね評価できます。

　　　　　　②③④：３年連続で目標値を下回っています。改善を要望します。コロナ禍、重要な

　　　　　　　　　　取り組みだと考えられます。手間がかかると思いますが、年間スケジュール

　　　　　　　　　　等に落とし込み確実な実施を望みます。

　　　　　　※コロナ禍により巡回等の調査ができない状況で、目標値の下回りは仕方ないと思わ

　　　　　　　れるが、今後もコロナが続く状況下において実施方法等の改善をする必要があると

　　　　　　　思われる。

**３．事業計画策定支援に関すること【指針②】**

（１）計画経営に向けた事業計画策定セミナーの開催

　１）実施内容

　　①事業計画策定に係るセミナーを企画したが、新型コロナウイルスの影響により対面での開催をやめ、事前にセミナーの内容を撮影し、ＣＤ化を行い、それを配布する形でセミナーを開催した。「事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行うこと」「事業計画策定の重要性を理解してもらうこと」「作成能力の把握を行い、今後の支援方法の参考とすること」「課題の抽出を行い個別相談会実施内容の参考とすること」。

当初対面での開催参加者数より視聴される方が多くなった。

　　　　**＜課題＞**

・事業計画策定の重要性を認識することができましたが、実行されないケースもあります。

　　　　　商工会で四半期ごとの巡回による確認は行っていますが、前回の訪問で止まってしまう

ケースが身見受けられます。

　　　　　　●講　　師：中小企業診断士　　原　祐治　氏

　　　　　　●内　　容：「事業計画の作り方セミナー」

　　　　　　●参加者数（配布数）１０名

　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業計画策定セミナーの実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①実施回数　　　　　　目標 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　　〃　　　　　　　実績 | １回 | １回 | １回 |  |  |
| ②参加者人数　　　　　目標 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 |
| 　　　〃　　　　　　　実績 | ４人 | ７人 | 10人 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② |
| ３０年度 | 100％ | 40％ |
| 31･元年度 | 100％ | 70％ |
| ２年度 | 100％ | 100％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　②：事業計画策定の重要性についての認識を持つ事業者が増えてきている。各事業者

　　　　　　　　の課題抽出に取り組み、事業計画策定に繋げるように努めます。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　※①②とも目標達成されており評価できる。

（２）事業計画策定セミナーによる個別相談の実施と事業計画策定支援

　１）事業内容

　　　　セミナーで事業計画策定に意欲を持った事業所に対して、個別相談会を年２回実施し事業

　　　計画策定の支援を行った。

　　　　事業の軸である「事業計画策定事業所数」では、**４社の策定**を行いました。

　　　　●開催日時：令和２年１１月１６日、３０日

　　　　●参加者数：６社

　　　　●講　　師：中小企業診断士　原　祐治氏

　　　　●内　　容：「事業計画個別相談会」

　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 個別相談実施・事業計画策定支援 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①実施回数　　　　　　　　目標 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　〃　　　　　　　　　　実績 | １回 | １回 | ２回 |  |  |
| ②参加者人数　　　　　　 目標 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 |
| 　　〃　　　　　　　　　 実績 | 3人 | ５人 | ６人 |  |  |
| ③事業計画策定事業所数　　目標 | 5社/人 | 6社/人 | 7社/人 | 7社/人 | 10社/人 |
| 　　〃　　　　　　　　　　実績 | 8.5社/人 | 10社/人 | ４社/人 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ |
| ３０年度 | 100％ | 30％ | 170％ |
| 31･元年度 | 100％ | 50％ | 175％ |
| ２年度 | 200％ | 60％ | 66％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　③：事業計画の重要性についての認識を持つ事業者が増えているものの、実際に計画

　　　　　　　　を策定するまでに至らないケースもあり、策定までの支援を実施する必要がある。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：目標値を上回っています。高く評価できます。

　　　　　　②：目標値を下回っています。コロナ禍のセミナーの開催方法については今後、よく

　　　　　　　　検討してください。

　　　　　　③：目標値を下回っています。コロナ禍、やむを得ない側面もあります。今後はアフ

　　　　　　　　ターコロナを見据え、当取り組みに注力されることを望みます。

　　　　　　※年２回実施については、コロナ禍で評価でき、②が増加となっているが、③も増加

　　　　　　　となればと思うが、③の理由を把握しておく必要がある。

（３）事業計画策定の専門的課題の専門家による解決支援実施

　　①事業内容

　　事業計画策定支援の中で専門的な課題については専門家派遣、長野県商工会連合会の上席専門経営支援員、長野県よろず支援拠点を活用しました。

また、毎月行われる経営支援センター伊北諏訪グループの定例会にて、小規模事業者が抱える課題案件を上げ複数の経営指導員・補助員による課題解決の支援方法について検討を行い最良の支援を実施しました。

　　②数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 専門家による課題解決の相談実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①実施件数　　　　　　　　目標 | 5件 | 5件 | 5件 | 5件 | 5件 |
| 　　〃　　　　　　　　　　実績 | 13件 | 18件 | 17件 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |
| --- | --- |
| 年 度 | ① |
| ３０年度 | 260％ |
| 31･元年度 | 360％ |
| ２年度 | 340％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：相談案件が高度化・専門的な内容に対応するため、専門家等活用の機会は増えて

　　　　　　　　いる。また、職員が同行して資質向上のためのＯＪＴとして不可欠となっている。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：目標値を大きく上回っています。高く評価できます。

　　　　　　※目標値を大きく上回り高く評価できる。

（４）経営支援センター伊北諏訪グループ定例会による課題案件の課題解決

　　１）事業内容

　　　毎月行われる経営支援センター伊北諏訪グループの定例会にて小規模事業者が抱える課題案件を上げ複数の経営指導員・補助員による課題解決の支援方法について検討を行い、最良の支援を実施した。

新型コロナウイルスにより、リモートや書面によるやり取りといった方法で行いました。

　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 支援センター定例会による課題解決の実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①実施件数　　　　　　　　　　　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | 12回 | 12回 | 12回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |
| --- | --- |
| 年 度 | ① |
| ３０年度 | 100％ |
| 31･元年度 | 100％ |
| ２年度 | 100％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：異なる地域を担当している中で、同様な指導事例があった場合の情報交換の場と

　　　　　　　　して、継続して取り組む。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　※コロナ禍において、リモート・書面での対応により目標達成したことは、内容実施

　　　　　　　方法などから評価できる。

（５）創業に関する支援

　　１）事業内容

　①創業塾を伊北諏訪グループ上伊那地域３商工会と上伊那南部グループ４商工会の合同で実施。村内からの参加者は４名参加。

　　　　●開催日時：令和２年９月４日、８日、１１日、１５日、１８日、２５日、２８日、

　　　　●参加者数：１５名（内村内参加者４名）

　　　　●講　　師：税理士　新村典久氏・商工連主査　濱田廣雄氏、百瀬正敏氏、創業者

　　　　●内　　容：「いな創業塾２０２０」

②創業塾の中で創業者の抱える課題を抽出し、課題ごとに個別相談会へつなげ課題解決を

図りました。当初は課題別の専門家（中小企業診断士・税理士・社労士・金融機関・日

本政策金融公庫・長野県信用保証協会）による個別相談会を計画しましたが、商工会で

１対１の個別窓口で対応した。上半期は新型コロナウイルス懸念のため相談が無かった

　　　　　が、下半期になり相談が増えてきました。

　　　　③創業者事業計画書策定では、２件の計画支援を行いました。事業コンセプトから、売上

　　　　　計画、資金繰り計画を作成。売上計画では、商品別に細かく利益率を計画し、また市場

調査を含め、より実現性のある売上計画書の作成支援を行いました。

　　　　④創業に関する情報誌に関して、今年度は新たなものを作成せず、前年のものを使用した。

　　　　　**＜課題＞**

　　　　　・複数の商工会で主催した創業塾では、受講後の状況が把握できていません。

　　　　　　管轄内での創業者の把握はできますが、他地区の創業者は担当地区の商工会で把握さ

れていないケースもあります。受講後の追跡調査が課題です。

　　　　　　（創業率・創業継続年数などのデータ収集ができていない）

　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 創業に関する支援 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①創業塾　開催数　　　　　　　　　目標 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | １回 | １回 | １回 |  |  |
| ①創業塾　参加者数　　　　　 　 　目標 | ５人 | ７人 | ７人 | 10人 | 10人 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | ５人 | ０人 | ４人 |  |  |
| ②創業者向け個別相談会　開催数 　 目標 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | ０回 | ０回 | ０回 |  |  |
| ③創業者事業計画策定（事業者）数　目標 | ５件 | ５件 | ５件 | ５件 | ５件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | ４件 | ２件 | ０件 |  |  |
| ④創業に関する情報誌　発行回数　　目標 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | １回 | １回 | ０回 | 　 |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ |
| 開催数 | 参加者数 |
| ３０年度 | 100％ | 100％ | 0％ | 80％ | 100％ |
| 31･元年度 | 100％ | 0％ | 0％ | 0％ | 100％ |
| ２年度 | 100％ | 57.1％ | 0％ | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①～④：南箕輪村は、2015年に中小企業庁の「産業競争力強化法に基づく創業支援等

　　　　　　　　　　事業計画」が認定されているため、村と連携して創業に取り組む必要がある。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①　：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　②③：目標値を下回っています。商工会の裁量だけではどうにもならない要素も強く

　　　　　　　　　やむを得ないと判断しました。

　　　　　　④　：実施していません。できなかった理由は明確にしてください。

　　　　　　※受講後の把握は重要であり、必要性を感じる。

　（６）事業承継に関する支援

　　　１）事業内容

　　　　　　新型コロナウイルスにより事業を実施することができなかった。

　　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業承継に関する支援 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①アンケート実施で課題とする事業所数　　　目標 | 36社 | 36社 | 36社 | 36社 | 36社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 2社 | 1社 | 0社 |  |  |
| ①アンケート実施回数(上記36社以外)　　　　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0回 | 0回 | 0回 |  |  |
| ②事業承継セミナー　実施回数　　　　　　　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 0回 | 0回 |  |  |
| ②事業承継セミナー参加者数　　　　　　　　目標 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 | 10人 |
| 〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1人 | 1人 | 0人 |  |  |
| ③事業承継計画書作成事業所数　　　　　　　目標 | 4件 | 4件 | 4件 | 4件 | 4件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1件 | 1件 | 0件 |  |  |
| ④事業承継個別相談会　実施回数　　　　　　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ⑤事業承継人材育成セミナー　実施回数　　　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 2回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ⑤事業承継人材育成セミナー　参加者数　　　目標 | 7人 | 7人 | 7人 | 7人 | 7人 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 17人 | 10人 | 0回 |  |  |
| ⑥事業承継　マッチング事業所数　　　　　　目標 | 2件 | 2件 | 2件 | 2件 | 2件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0件 | 1件 | 0件 |  |  |
| ⑦事業承継情報誌発行回数・本会HP掲載回数　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 1回 | 0回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| 事業所数 | 実施回数 | 実施回数 | 参加者数 | 実施回数 | 参加者数 |
| ３０年度 | 5.5％ | 0％ | 100％ | 10％ | 25％ | 100％ | 200％ | 242％ | 0％ | 100％ |
| 31･元年度 | 2％ | 0％ | 0％ | 10％ | 25％ | 100％ | 100％ | 142％ | 50％ | 100％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①～⑦：新型コロナウイルス対応の業務が多数発生したため、実施が出来なかった。

　　　　　　　　　　アンケート等に基づいて、要望に沿った項目の実施に取り組みます。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①～⑦：実施していません。コロナ禍で、やむを得ないと判断しました。但し、事業

　　　　　　　　　　承継の支援ニーズは今後、動向を見た方が良いと考えられます。

　　　　　　※コロナ禍であるため目標達成しないことは理解できるが、実施方法について検討を

　　　　　　　する必要がある。

**４．事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】**

　（１）事業計画策定後の巡回による支援実施

　　　１）事業内容

　①事業計画策定を実施した全ての事業所（創業支援者・事業承継者含む）を四半期ごとに巡回訪問を行い進捗状況の確認を行い、事業計画と進捗状況の摺合せと分析を行いました。【分析：売上、粗利益率、収益性、経費率　他】

　　　　②創業予定者、創業後１年以内の事業所対象に四半期ごとの巡回を実施し、事業計画書との差異を確認し、課題を抽出。課題によって、専門家派遣を行いました。

　　　　④いな創業塾で創業経験者による体験談や事業をはじめてについての講演を実施

　　　　　**＜課題＞**

・商工会で四半期ごとの巡回による確認は行っていますが、前回の訪問で止まってしまう

ケースが身見受けられます。

　　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業計画等策定後の巡回による支援実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①フォローアップ実施数　　　　　　　　　　　目標 | 20回 | 20回 | 20回 | 20回 | 20回 |
| 　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 12回 | 21回 | 10回 |  |  |
| ②創業者事業計画策定フォローアップ実施回数　目標　　　　　　　 | 20回 | 20回 | 20回 | 20回 | 20回 |
| 　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 12回 | ４回 | ４回 |  |  |
| ③事業承継計画策定者フォローアップ実施回数　目標 | 16回 | 16回 | 16回 | 16回 | 16回 |
| 　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | ２回 | １回 | ０回 |  |  |
| ④創業者によるセミナーの開催回数　　　　　　目標 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0回 | 0回 | １回 |  |  |
| ④創業者によるセミナー参加者数　　　　　　　目標 | ４人 | ４人 | ４人 | ４人 | ４人 |
| 　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | ０人 | ０人 | ４人 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ |
| 開催回数 | 参加者数 |
| ３０年度 | 60％ | 60％ | 12.5％ | 0％ | 0％ |
| 31･元年度 | 105％ | 20％ | 6.2％ | 0％ | 0％ |
| ２年度 | 50％ | 20％ | 0％ | 100％ | 100％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②③：フォローアップに関しては、窓口・巡回を通じて的確に指導する必要がある｡

　　　　　　④　　：実際の体験談は何よりも大切なので、創業塾のカリキュラムに取り込む。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②③：目標値を下回っています。商工会の裁量だけではどうにもならない要素も

　　　　　　　　　　強く、やむを得ないと判断しました。

　　　　　　④　　：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　①～④：まずは計画策定の関与先の増加が必要だと考えられます。

　　　　　　※①②③での目標達成ができていない面、訪問が止まってしまうケースについては、

　　　　　　　どのようなことで止まったかしっかり分析し、今後に繋げるようにされたい。

**５．需要動向調査に関すること【指針③】**

　◆個社毎の顧客ニーズ調査

（１）消費者モニター調査（ＢtoＣ）の支援実施

　１）事業内容

　　新型コロナウイルスにより消費者モニター調査を実施することができなかった。

　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 消費者モニター(BtoC)の支援実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①調査支援実施実施事業所数　 目標　　　　　　　　　　　 | 7社 | 7社 | 8社 | 8社 | 9社 |
| 〃　　 　　　　　実績 | 2社 | 1社 | 0社 |  |  |
| ②　　〃　　　サンプル数　　 目標　　　　　　　 | 50 | 50 | 50 | 50 | 50 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　 実績 | 22 | 8 | ０ |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② |
| ３０年度 | 14.3％ | 44％ |
| 31･元年度 | 14.2％ | 16％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②：地域産品を用いた商品がある飲食業者・菓子製造販売業者が対象であるため、

　　　　　　　　　外食自粛・観光客激減により実施出来なかった。調査方法等の検討が必要｡

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②：実施していません。コロナ禍、やむを得ないと判断しました。

　　　　　　※コロナ禍による一層のモニター調査が必要と思われる。方法の検討を

（２）工業展におけるニーズ調査【製造業者向け】工業展・商談会でのバイヤーニーズ調査（ＢtoＢ）

　　１）事業内容

①工業展・商談会でのバイヤーニーズ調査（ＢtoＢ）

　　　 小規模事業者が工業展・商談会に出展する~~製~~品を顧客がどう感じるかについてアンケート

調査等を実施する予定であったが、展示会がオンラインによる開催となり実施することが

出来なかった。

　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工業展におけるニーズ調査(BtoB)の支援実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①調査支援実施実施事業所数　　　　 目標　　　　　　　　　　　 | 10社 | 10社 | 11社 | 11社 | 12社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　 実績 | 8社 | 5社 | 0社 |  |  |
| ①モニターサンプル数(1社当り)　　　目標　　　　　　　 | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　 実績 | 30 | 20 | 0 |  |  |

※対象展示会は、諏訪圏工業メッセ2019-３社、　テクニカルヨコハマショウ-２社

　　　　【達成率】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② |
| ３０年度 | 80％ | 75％ |
| 31･元年度 | 50％ | 50％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②：予定内容が商談会での製品に対するアンケート調査のため、オンライン商談会

　　　　　　　　　となった場合に備えた調査票の内容検討が必要。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②：実施していません。コロナ禍、やむを得ないと判断しました。

　　　　　　※オンライン対応への推進を。

（３）物産展等におけるニーズ調査【小売業者向け】物産展等でのバイヤーニーズ調査（ＢtoＢ）

　　１）事業内容

　　　①新型コロナウイルスの影響により、物産展等でのバイヤーニーズ調査（ＢtoＢ）を未実施｡

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物産展におけるニーズ調査(BtoB)の支援実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①調査支援実施実施事業所数　　　　 　目標 | 3社 | 3社 | 4社 | 4社 | 5社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　 　　 実績 | 1社 | 2社 | 0社 |  |  |
| ②モニターサンプル数(1社1展示会当り) 目標　　　　　　　 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　 実績 | 5 | 10 | 0 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② |
| ３０年度 | 33.3％ | 8.3％ |
| 31･元年度 | 66.6％ | 16.6％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②：郷土食品等に関しての聴き取り調査を予定していたが、物産展等が中止となり

　　　　　　　　　実施出来なかった。味・食感等について対面での聴き取りのため、オンライン

　　　　　　　　　では難しい。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②：実施していません。コロナ禍、やむを得ないと判断しました。

　　　　　　※コロナ禍により難しい状況であるが、ニーズ調査はこのような状況下で必要である。

（４）商圏実態調査（新規事業）

　　１）事業内容

　　　①小規模事業者が新商品、新サービスの提供を行う際に、ターゲットとする商圏の状況を把

　　　　握することが重要ですが、商圏の把握を行う手段が解らない小規模事業者が多いのが現状

　　　　です。当会において商圏実態調査の支援を行いました。jSTATMAPを活用し、商圏人口から

　　　　購買力を算出し、販売プロモーションに活用しました。（チラシ配布先範）

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 商圏実態調査の支援実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①調査支援実施実施事業所数　　目標 | ７社 | ７社 | ８社 | ８社 | ９社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　実績 | ４社 | ２社 | １社 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |
| --- | --- |
| 年 度 | ① |
| ３０年度 | 57.1％ |
| 31･元年度 | 28.5％ |
| ２年度 | 25％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：商圏調査結果に基づいて、新商品・新サービス等の販路開拓の方向性と既存の

　　　　　　　　販売方法の改善に活用し事業計画策定に繋げるため、活用フローが必要。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：目標値を下回っています。「商工会で実施できる」という情報発信が必要ではない

　　　　　　　　でしょうか。

　　　　　　※情報収集は重要であり、支援充実の検討必要である。

（５）統計資料等を活用した業種別の市場の把握（新規事業）

　　１）事業内容

　　　①今後の経営方針を見定めるに消費者動向、業界動向を把握することが必要であり、小規模事業者に、リアルタイムに消費者動向、業界動向を周知し、事業計画の策定に活用できる支援を行った。県内の消費者動向として長野県経済研究所発行の「経済月報」、アルプス中央信用金庫発行の「伊那谷・経済動向」から、経営指導員が定期的に情報を収集し、整理・分析を行い、事業計画策定に活用しました。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①市場把握実施回数　　目標 | ４回 | ４回 | ４回 | ４回 | ４回 |
| 　　　〃　　　　　　　実績 | １回 | １回 | １回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |
| --- | --- |
| 年 度 | ① |
| ３０年度 | 25％ |
| 31･元年度 | 25％ |
| ２年度 | 25％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：４半期ごとの定期的実施ではなく、相談案件に応じての実施に留まっている。

　　　　　　　　情報集約フォーム等の検討が必要。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：目標値を下回っています。３年連続で目標値を下回っている理由を明確にして

　　　　　　　　みてはいかがでしょうか。。

　　　　　　※改善を要望する。

**６．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】**

◆【地域内の新たな需要開拓への支援（小売業・飲食業・サービス業・建築業向け）】

（１）販売戦略策定支援講習会の実施（新規事業）

　 １）事業内容

　　　新型コロナウイルスの影響もあり、対応としてテイクアウト講習会を実施いたしました。

　　　今までテイクアウトを実施していなかったお店や、すでに実施しているお店も参加され、

　　テイクアウトを行う際のポイントや注意点に関する講習会となりました。今回は９名が参加

　　して、後日巡回で確認したところ、今回の講習会を参考にしてテイクアウトに取り組まれて

　　いました。

　　　また、ＩＴ化に対応するためＩＴ活用講習会を開催しました。現在では、ＩＴを活用した

　　販売促進は必須であり、この講習会を通じてＩＴ活用の重要性を認識することができました。

**＜課題＞**

・売上効果の把握が難しいこと。チラシによる効果かどうかの判別ができないこと。

　（年間の売上で効果を見る場合、昨年のように台風１９号等の外部要因による影響もあり、

年間では結果的に売上が減少してしまったということも想定されます。

　【テイクアウト講習会】

●開催日時：令和２年７月２２日

●参加人数：９名

●講　　師：フードラベルプラス　佐々木有紀子　氏

●内　　容：「テイクアウトに関する件について」

【IT活用講習会】

●開催日時：令和３年３月２４日

●参加人数：６名

●講　　師：㈱ナーツ　野中栄一　氏

●内　　容：「ＩＴの活用に関する件」

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 販売戦略策定支援講習会・策定支援　実施 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①講習会開催回数　　　　　　 　目標　　　　　　　　　　　 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | １回 | ２回 | ２回 |  |  |
| ②販売戦略策定支援事業社数　　　目標 | 10社 | 10社 | 12社 | 12社 | 12社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | ２社 | 18社 | 15社 |  |  |
| ③策定支援社への巡回実施回数　　目標 | ４回 | ４回 | ４回 | ４回 | ４回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | ２回 | ４回 | ４回 |  |  |
| ④策定支援社売上増加率３％以上　目標 | ３％/１社 | ３％/１社 | ３％/１社 | ３％/１社 | ３％/１社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | １％/１社 | １％/１社 | 未計測 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ |
| ３０年度 | 100％ | 20％ | 50％ | 33.3％ |
| 31･元年度 | 200％ | 180％ | 100％ | 33.3％ |
| ２年度 | 200％ | 125％ | 100％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②③：新たな需要開拓のための支援として、事業者を取り巻く経営環境を見定めた

　　　　　　　　　　上で、実施内容を企画・検討するように改善した。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②③：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　④　　：評価することが難しいです。

　　　　　　※売り上げ効果把握が難しい中、④は止むを得ないと思われる。

（２）展示会・商談会への出展（新規事業改善）

　　１）事業内容

　　　　**＜課題＞**

新型コロナウイルスの影響に展示会の中止や延期等になり、オンラインによる１対１の

商談会のみ実施した。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 展示会・商談会への出展 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①展示会・商談会支援事業所数(１回当)　目標　　　　　　　　　　　 | ３社 | ３社 | ４社 | ４社 | ５社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　実績 | １社 | ２社 | １件 |  |  |
| ②売上増加率　　（１社当り）　　　　　目標 | ３％ | ３％ | ３％ | ３％ | ３％ |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0.5％ | １％ | 未測定 |  |  |
| ③出展成約件数　（１社当り）　　　　　目標 | ５件 | ５件 | ５件 | ５件 | ５件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　実績 | ３件 | ２件 | １件 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ |
| ３０年度 | 33.3％ | 16.6％ | 60％ |
| 31･元年度 | 66.6％ | 33.3％ | 40％ |
| ２年度 | 25％ | 0％ | 25％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①③：開催内容により、オンライン化に切り替わる商談会・展示会が今後増える可能

　　　　　　　　　性も想定される。小規模事業者のオンライン化対応の支援も必要となる。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①③：目標値を下回っています。コロナ禍、やむを得ないと判断しました。

　　　　　　②　：評価することが難しいです。

　　　　　　※コロナ禍状況下で止むを得ないと思われる。

（３）「１店１逸１品」「一技」プロモーション支援（新規事業）

　　１）事業内容

　　今年度未実施

　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 「１店１逸１品」「一技」プロモーション支援 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①プロモーション支援事業数　　　　　　　 目標 | 10社 | 10社 | 12社 | 12社 | 12社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　 実績 | 11社 | ７社 | ０社 |  |  |
| ②支援実施事業所売上増加率(１社当り３％) 目標 | ３％ | ３％ | ３％ | ３％ | ３％ |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　 実績 | 未測定 | 1％ | 未計測 |  |  |
| ③出展成約件数（１社当り）　　　　　　　 目標 | ５件 | ５件 | ５件 | ５件 | ５件 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　 実績 | １件 | ３件 | ０件 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ |
| ３０年度 | 110％ | 0％ | 20％ |
| 31･元年度 | 70％ | 33.3％ | 60％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①　：新型コロナの影響で、プロモーションスキル向上のための主内容である専門家

　　　　　　　　　派遣の実施を見送り。

　　　　　　②③：①を実施出来なかったため、②③への展開が出来なかった。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②③：実施していません。コロナ禍、やむを得ないと判断しました。但し、実施

　　　　　　　　　　していない理由・課題の内部意見は欲しいです。

　　　　　　※コロナ禍であり、必要な支援事業と思われる。方法などにさらに検討。

（４）地域住民への情報提供（新規事業）

　　１）事業内容

①小規模事業者の新たな需要開拓を目指す新商品、新サービスの情報を地域住民にＰＲし、地域住民に選ばれる店づくりの支援を行うことを目的として支援を行った。

　「暮らしの便利帳」と銘打ったホームページを作成し、そこで自社の強み（商品）のＰＲを行った。掲載事業所数は１０１社。建設業界では、依頼別カテゴリーに分け、得意技術のＰＲチラシを作成し、全戸配布を行いました。掲載企業は２９社。昨年も同様のＰＲチラシを作成し配布しましたが、このチラシを見ての問合せも徐々に増えています。

　**＜課題＞**

　　　 ・支援先売上増加では、売上全体では増加しているが、どの効果による増加なのか把握

　　　　　　することが難しい。

　　　　・建設業者ＰＲチラシでは、掲載事業所にチラシによる効果の調査ができていない。

２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域住民への情報提供 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①地域住民への情報提供実施数　　　　　　目標 | １回 | １回 | １回 | １回 | １回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | １回 | １回 | １回 |  |  |
| ②地域住民情報提供支援事業所数　　　　　目標 | 10社 | 10社 | 12社 | 12社 | 12社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 88社 | 87社 | 101社 |  |  |
| ③支援先事業者売上増加率３％(１社当り)　目標 | ３％増 | ３％増 | ３％増 | ３％増 | ３％増 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 未測定 | 未測定 | 未測定 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ |
| ３０年度 | 100％ | 880％ | 0％ |
| 31･元年度 | 100％ | 870％ | 0％ |
| ２年度 | 100％ | 1010％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②：新たな需要開拓を目指す商品・サービスを地域住民に紹介することにより、

　　　　　　　　　地域住民に選ばれる事業所の支援事業として効果を獲得することが出来た。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　③　：評価することが難しいです。

　　　　　　※①②は、コロナ禍対応として、とても評価できる。

（５）成功事例、先進事例等の情報提供事業（新規事業）

　　１）事業内容

①新たな需要開拓での成功事例を紹介する。成功事例から自店の販売戦略のヒントを学び、

地域住民から選ばれる店づくりとなることを目的として、対象者は地域内の新たな需要

開拓を目指す事業計画を策定した小規模事業者。支援方法は、商工会で成功事例の情報

収集を行い資料を作成する計画でしたが、実施することができませんでした。

２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①成功事例情報誌作成実施回数　　目標　　　　　　　　　　　 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | 0回 | 0回 | 0回 |  |  |
| ②成功事例支援事業所数　　　　　目標 | 10社 | 10社 | 12社 | 12社 | 12社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　実績 | 2社 | 0社 | 0社 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② |
| ３０年度 | 0％ | 20％ |
| 31･元年度 | 0％ | 0％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②：成功事例・先進事例について、収集する情報の絞り込みや集約フォームの構築

　　　　　　　　　などについて、課題として検討します。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②：実施していません。コロナ禍、やむを得ないと判断しました。但し、実施して

　　　　　　　　　いない理由、課題の内部意見は欲しいです。

　　　　　　※コロナ禍における事例提供など、状況にあった事例提供を期待する。

◆【地域外の新たな需要開拓への支援（製造業向け）】

　（１）新たな販路開拓に関する講習会の開催

　　１）**事業内容**

　　　　展示会への出展の支援を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、いままでの

開催方法ではなく、オンラインによる参加方法へ変更となった。オンライン形式であった

ため、プレゼン能力向上講習会の実施を行わなかった。また、オンラインによる出展であ

ったため、商談件数等の把握ができず未測定となった。

　　２）**目標数値及び実績**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 新たな販路開拓に関する講習会の開催 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①プレゼン能力向上講習会実施回数　目標　　　　　　　　　　　 | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ②講習会参加者事業所数　　　　　　目標 | 3社/回 | 3社/回 | 4社/回 | 4社/回 | 5社/回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 4社 | 10社 | 0回 |  |  |
| ③本会が支援する展示会数　　　　　目標 | 2回 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 2回 | 2回 | 2回 |  |  |
| ④本会が支援する出展事業所数　　　目標 | 3社/回 | 3社/回 | 4社/回 | 4社/回 | 5社/回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 3社/回 | 2.5社/回 | 2.5社/回 |  |  |
| ⑤展示会での商談件数　　　　　　　目標 | 5件/1社 | 5件/1社 | 6件/1社 | 6件/1社 | 7件/1社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 4件/1社 | 3件/1社 | 未測定 |  |  |
| ⑥展示会等での成約件数　　　　　　目標 | 3件/1社 | 3件/1社 | 4件/1社 | 4件/1社 | 5件/1社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 1件/1社 | 3件/1社 | 未測定 |  |  |
| ⑦展示会等での受注件数　　　　　　目標 | 2件/1社 | 2件/1社 | 3件/1社 | 3件/1社 | 4件/1社 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 1件/1社 | 2件/1社 | 未測定 |  |  |
| ⑧展示会等での売上増加率　　　　　目標 | 3％増/回 | 3％増/回 | 3％増/回 | 3％増/回 | 3％増/回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　実績 | 未測定 | 1％増/回 | 未測定 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| ３０年度 | 25％ | 133％ | 100％ | 100％ | 80％ | 33.3％ | 50％ | 0％ |
| 31･元年度 | 25％ | 333％ | 66.6％ | 83％ | 60％ | 100％ | 100％ | 33.3％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ | 66.6％ | 83％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①～⑦：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、商工会では対応出来ない状況に

　　　　　　　　　　置かれ、予定していた支援が出来なかった。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①～⑦：実施していない、または目標値を下回っています。コロナ禍、やむを得ない

　　　　　　　　　　と判断しました。

　　　　　　※オンライン対応の必要性により、今後の推進に期待する。

Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組

　（１）「地域活性化委員会」の設立

　　１）事業内容

①「地域活性化委員会」を設立した。

　　会議の開催を行うことができませんでした。

　　　 ②広域観光ルートの確立

　　　　　会議を行うことができず、検討をすることができなかった。

**＜課題＞**

・新型コロナウイルスの影響により委員会を開くことが難しい点、観光自体も自粛気味

である。コロナ収束後を見据えた観光ルートの確立等が必要になってくる。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地域活性化委員会の設立 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①委員会開催数　　　　　　　　　　　目標 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 | 3回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ②新たな商品の開発　　　　　　　　　目標 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ③委員会結果ＨＰ掲載回数　　　　　　目標 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0 | 0 | 0 |  |  |
| ④他地区観光協会との合同会議開催数　目標 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　 　　実績 | 0回 | 0回 | 0回 |  |  |
| ⑤広域観光ルートの確立　　　　　　　目標 | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ | ⇒ |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0 | 0 | 0 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ３０年度 | 33.3％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ |
| 31･元年度 | 33.3％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ |
| ２年度 | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ | 0％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①～⑤：Ｗithコロナ・アフターコロナを見据えて、組織として動き出す時期に来て

　　　　　　　　　　いると思われるので、状況を判断しながら再度取り組む。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①～⑤：実施していません。コロナ禍、やむを得ないと判断しました。

　　　　　　※コロナ禍で会議開催ができない状況下で、今後はコロナ禍・ＷＩＴＨコロナがから

　　　　　　　どうするかを検討する必要がある。

Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

　（１）他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

　　１）事業内容

①長野県工業技術総合センター、長野県中小企業振興センターと連携し製造業の技術的な動

向・製造業界全体の動向について情報を収集し、「５．需要動向に関すること」の産業動

向に関するセミナーのテーマの選定に活用することを目的に毎月１回の情報交換を計画

しましたが、実施することができませんでした。

②各金融機関との情報交換を行い景況に関する情報収集を行った。毎月１回の情報交換を計

画しましたが、随時実施とした。

 ③アルプス中央信用金庫本店と情報交換を行うことができませんでした。

　　④伊那公共職業安定所と連携し雇用状況についての情報交換を行いました。目的は雇用情勢か

　　　ら地域の業界全体の景況を探るためです。２年度は、伊那地区雇用対策推進会議へ参加し情

報交換を行いました。

　　⑤毎月行われる経営支援センター伊北諏訪グループの定例会議において、各管内の景況動向、

　　　資金需要、課題、支援事例について情報交換を行いました。効果としてこの課題に精通して

　　　いる専門家は誰なのか、どのような支援が効果あるのか、等の情報を得ることにより支援力

　　　の向上に繋がった。また、支援事例の発表を行い支援能力の資質向上が図れた。

　　⑥信州大学農学部、長野県南信工科短期大学校、上伊那農業高校との情報交換では、未実施

となってしまった。

⑦上記、①～⑥の情報交換の結果は、毎月職員会議にて報告し、全職員の共有化を図った

　　　**＜課題＞**

　　　・毎年、４月に管内関係機関が一堂に会する会議が開催されています。今後、この会議を活

用しての情報交換を企画したいと思います。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 他の機関との連携 | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①工業関係機関との情報交換実施回数　　　　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ②各金融機関との情報交換実施回数　　　　　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 8回 | 4回 | ４回 |  |  |
| ③アルプス信金審査部情報交換実施回数　　　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 4回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ④伊那公共職業安定所との情報交換実施回数　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 1回 | 1回 |  |  |
| ⑤支援グループ定例会議　開催数　　　　　　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 4回 | 3回 | 1回 |  |  |
| ⑥地元教育機関との情報交換実施回数　　　　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 0回 | 1回 | 0回 |  |  |
| ⑦職員会議等報告会実施回数　　　　　　　　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 12回 | 12回 | 12回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |
| ３０年度 | 8.3％ | 66.6％ | 33.3％ | 8.3％ | 33.3％ | 0％ | 100％ |
| 31･元年度 | 8.3％ | 33.3％ | 8.3％ | 8.3％ | 25％ | 100％ | 100％ |
| ２年度 | 0％ | 33.3％ | 0％ | 8.3％ | 8.3％ | 0％ | 100％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①～⑥：コロナ禍の影響を受けている個別事業所支援のための事業に重点を置いて

　　　　　　　　　　進捗したため、関係機関との情報交換に関しては疎かになってしまった。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①～⑥：実施していない、または目標値を下回っています。コロナ禍、やむを得ない

　　　　　　　　　　と判断しました。但し、実施していない理由、課題の内部意見は欲しいです。

　　　　　　⑦　　：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　※①③⑥について、改善（実施方法など）を検討願います。

**２．経営指導員等の資質向上等に関すること**

　（１）研修会への参加

　　１）事業内容

　　　①長野県商工会連合会主催の研修会に参加し職員の資質向上を図りました。

　　　②中小企業基盤整備機構主催の研修会に参加する計画でしたが、２年度は「働き方改革オン

　　　　ラインセミナー」等オンラインによるセミナーへ参加し、支援に活用できる講習会に参加

　　　　しました。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 経営指導員等の資質向上等に関すること | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①県連主催の研修会参加数　　　　　　　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 1回 | 1回 |  |  |
| ②中小企業基盤整備機構研修会参加回数　目標 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 1回 | 0回 | 1回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② |
| ３０年度 | 100％ | 100％ |
| 31･元年度 | 100％ | 0％ |
| ２年度 | 100％ | 100％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　②：中小企業基盤整備機構の宿泊研修会参加の他に、今後もオンラインセミナーへの

　　　　　　　　積極的な参加を図る。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　※目標達成しており高く評価できる。

　（２）支援作業手順書の作成

　　１）事業内容

①実施内容は、月１回職員会議を開催し、各職員の知識、経験、情報を基に「支援に関する作業手順書」を作成した。作業手順書は、経営カルテで管理し、また専門分野別グループ支援で作成している作業手順書「販路開拓支援」「新商品開発支援」「事業承継支援」「新規創業支援」「事業計画策定支援」については、更新及び内容の熟読を行いました。また、専門分野に属する職員による内容説明を行いました。

　　　　伊北諏訪グループで、各専門分野の委員になっている方から、説明、報告を実施しま

した。当グループでは「製造業」「労務（働き方改革）」「観光」「商業」「新商品開発」「創業支援」「海外展開」「事業承継」の委員がおり、各委員会の結果について説明を行いました。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①作業標準書作成に関する職員会議開催数　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | ６回 | ６回 | ６回 |  |  |
| ②作業標準書作成に関する見直し実施回数　目標 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | ６回 | ６回 | ６回 |  |  |
| ③作業標準書　作成計画　　　　　　　　　目標 | 見直し | 見直し | 見直し | 見直し | 見直し |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | １回 | １回 | １回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | ① | ② | ③ |
| ３０年度 | 50％ | 50％ | 100％ |
| 31･元年度 | 50％ | 50％ | 100％ |
| ２年度 | 50％ | 50％ | 100％ |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①②：作業手順書について内容が大体固まって来ているため、職員会議・見直しの

　　　　　　　　　頻度を下げての実施となりました。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①②：目標値を下回っています。理由、課題の内部意見は欲しいです。

　　　　　　③　：目標値を達成しています。概ね評価できます。

　　　　　　※目標達成しており高く評価できる。

　（３）【専門分野グループの分野別作業手順書の活用】（新規事業）

　　１）事業内容

長野県商工会連合会では、経営指導員を１１の専門分野に分けて、より専門的なスキル向上と専門分野ごとの支援方法の作業標準書の作成を目的に研修会、検討会を実施しています。分野は「事業承継」「製造業支援」「商業支援」「販路開拓支援」「創業支援」「農商工連携支援」「観光業支援」「海外展開支援」「新製品開発支援」「建設業支援」「サービス業支援」の１１の専門分野グループに分かれて作業標準書の作成を行っています。

１１の作業標準書完成後に経営指導員が全職員対象に説明会を実施しました。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①専門分野別作業標準書の活用　目標 | 随時 | 随時 | 随時 | 随時 | 随時 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　実績 | 11回 | 11回 | 11回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |
| --- | --- |
| 年 度 | ① |
| ３０年度 | 未測定 |
| 31･元年度 | 未測定 |
| ２年度 | 未測定 |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：専門分野別作業標準書は随時活用しているが、県連の専門分野11グループによる

　　　　　　　　作業標準書の見直しが年次的に実施されているため、その都度の対応が必要。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：評価不能

　（４）知識・ノウハウの見える化と財産化（新規事業）

　　１）事業内容

①知識、ノウハウ等を支援項目別にだれでも解るように≪見える化≫≪財産化≫を図り、全職員の共有化を図り本計画の実施が円滑に行えることを目的に実施。内容は、【長野県商工会連合会で開催される研修会への参加】【中小企業基盤整備機構主催等による研修会への参加】【支援作業手順書の作成】で実施した知識、ノウハウ等を項目別に分けファイルを行いました。項目は「販路開拓支援」「新製品開発支援」「事業承継」「創業支援」「製造業支援」「商業支援」「建設業支援」「サービス業支援」「農商工連携支援」「観光業支援」「海外展開支援」の１１項目としファイルに分け、「いつ、だれが見ても解る」ようファイルを行い、事業計画策定等の支援に活用しました。

　　２）目標数値及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| ①知識･ノウハウに関する定例会､更新実施　目標 | 毎週 | 毎週 | 毎週 | 毎週 | 毎週 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　実績 | 毎週 | 毎週 | 毎週 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |
| --- | --- |
| ① | 未計測 |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：知識・ノウハウ等のデータ化・ファイル化に努めています。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：評価不能

　（５）長野県商工連合会経営支援事例データベース蓄積検索システムの活用

　　１）事業内容

①実施内容は、各職員がこのシステムを利用した場合、その支援事例について課題別にファ

　　　　イリングを行った。ファイリングは前記の【知識・ノウハウの見える化と財産化】で行う

　　　　１１項目に分けた。各職員がこのシステムを利用した場合に、翌日の朝礼でその支援事例

　　　　を報告し職員全員の専門的な支援に必要なスキル向上を図った。

　　２）数値目標及び実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 30年度 | 31･元年度 | ２年度 | ３年度 | ４年度 |
| 県連経営支援事例データベース報告実施　目標 | 随時 | 随時 | 随時 | 随時 | 随時 |
| 　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　実績 | ３回 | １回 | １回 |  |  |

　　　　【達成率】

|  |  |
| --- | --- |
| ① | 未計測 |

　　　　　■内部意見（課題や改善点など）

　　　　　　①：収められているデータベースの一覧が無いため、類似した支援事例が探しにくい

　　　　　　　　部分がある。

　　　　　■外部評価・意見

　　　　　　①：評価不能

**【全体的な総括】**

　　　南箕輪村商工会の「経営発達支援事業」については、各事業 で 目標値に対する実績に差異

　　が見受けられる 。

　　　１．地域の経済動向調査に関すること【指針③】、２．経営状況の分析に関すること【指針

　　①】では、課題は把握できているので、早急に課題解決に向けて実行す る 必要があります。

　　４．事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】では、創業者と事業承継の事業計画策

　　定後のフォロー強化に努めたい。

　　　Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組については、村・関係機関との連携を強化して積極的に

　　進める必要があります。

　　　全体的に計画実施事業の項目数が多く、相対的に目標値に対する実績数が落ち込んでいる。

　　今後、目標が達成できるよう課題の解決の取組が必要である。 また、１００％以上達成できて

　　いる項目についても、何故達成できているのかその要因を探り、未達成の項目への転換を行う

　　ことで、全体的な達成率も上がってくると思われます。

　　　新型コロナウイルス感染症により、特に令和２年は未知のウイルスの対応のため、多くの面

　　で目標達成が難しくなりました。今後は、Ｗｉｔｈコロナ・アフターコロナの考えで、今まで

　　通りのやり方でなく、方法などの改善をしていく必要がある思います。